

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	20322	
事業名	在宅重度心身障がい者(児)紙おむつ支給費						
評価担当課	所属名	保)障がい保健 障がい福祉課					
	課長名	木下 健二	担当者名	遠藤 ひかり	電話番号	011-211-2936	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外		戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外			
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費 <input type="radio"/> 臨時的経費						
	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 法定経費 <input type="radio"/> 指定管理						
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input checked="" type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 補助助成 <input type="radio"/> その他					
	目的	短期	本人及び介護にあたる同居家族等の日常生活における負担の軽減と保健衛生の向上を図ることにより、重度障がい者(児)福祉の増進を図る。				
		長期	本人及び介護にあたる同居家族等の日常生活における負担の軽減と保健衛生の向上を図ることにより、重度障がい者(児)福祉の増進を図る。				
	取組内容	感覚マヒなどにより常時おむつを使用している在宅の重度障がい者(児)に紙おむつを支給する。 対象者: 重度の身体障がいまたは知的障がいあるいは精神障がいのある方(いずれも原則3歳以上)で、札幌市内で在宅(一部、グループホームや福祉ホームの利用者を含む)で生活している方。					
	実施結果	・利用件数: 21, 800件					
事業実施における工夫点	委託業者が取り扱うおむつの種類を選択とすることで、より受給者のニーズに沿う支給ができるようになっている。						
対象者	市内で在宅で生活し常時おむつを使用する重度障がい者(児)			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	札幌市在宅高齢者等・重度障がい者(児)紙おむつサービス事業実施要綱						
他都市の状況	全ての政令市において同様の事業が行われている。ただし、日常生活用具の給付事業として行うか、独自事業として行うかの違いがある。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	114,083	113,441	110,234	113,931	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.1	0.1	0.0	0.2	
人件費	720	720	0	1,440	
計(事業費+人件費)	114,803	114,161	110,234	115,371	
事業費の内訳	令和3年度決算	5,057 × 21,800 = 110,234千円			
	令和4年度予算	5,049円 × 22,566件 = 113,931千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	利用件数			
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
		22,803	22,544	21,800	21,623	
活動指標2		指標名				
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1		指標名				
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2		指標名				
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由				
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	在宅で生活する重度障がい者の保健衛生の向上に役立ったと考える。				
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	他都市の類似事業と同程度の規模となっている。				
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	常時おむつを必要とする重度障がい者に対し紙おむつの支給を行い、利用者及び同居家族等の日常生活における負担の軽減と保健衛生の向上につながっており、適切な事業手法であると思われる。				
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	紙おむつの原材料価格の高騰、社会情勢の影響を受けての品薄など委託事業者から情報提供はあるものの、一定のニーズは満たされていると考える。				
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	なし。					
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし					
今年度取り組んだ見直し内容	なし。			見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし					
評価の理由	常時おむつを必要とする重度障がい者及び同居家族等にとって必要な制度であるため、今後も継続して行う必要があるため。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 常時おむつを必要とする重度障がい者及び同居家族等にとって必要な制度であるため、今後も継続して制度を実施する。				
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 予算規模を維持し、制度の継続に取り組む。			見直し効果額	0